

(様式1)

大 学 名	広島大学	学 問 分 野	人文科学(教育学)
専 攻 等 名	広島大学高等教育研究開発センター		
拠点のプログラム名称	21世紀型高等教育システム構築と質的保証		
拠点リーダー氏名	有本 章	所属部局・職	高等教育研究開発センター・教授
プログラムの概要	本プログラムは、社会構造の変化に対応した高等教育システムの構築とその質的保証の問題を解明することによって、高等教育研究及び高等教育政策への貢献を行うことを企図している。		
拠点形成の目的・必要性	<p>目的： 高等教育研究における世界水準の学問的生産性を上げ、国際学界への貢献を通じて国際社会と日本社会の発展に寄与する。</p> <p>高等教育研究の国際競争力を持つ機関の構築によって世界の学术交流の要衝としての「学問中心地」を形成する。</p> <p>必要性： 高等教育研究の拠点形成には世界的課題である「21世紀型高等教育システム構築と質的保証」に関する組織・研究両面での中長期的な枠組みが必要である。</p> <p>具体的には主題に関する高等教育研究を行うが、それは相互に関連する以下の3つの主要目標を達成することを主眼とする。</p> <p>高等教育研究の推進、</p> <p>国際的学術研究会の定期的開催、</p> <p>学術情報の発信及びデータ・ベース構築である。</p>		
研究拠点形成実施計画	<p>研究拠点形成の中心は高等教育研究の推進にある。</p> <p>大学教育システムにおけるFD・SDの制度化と質的保証に関する研究では、理論研究、内外大学の訪問調査、資料収集、機関・教員質問紙調査、研究会開催、調査結果分析を行う。</p> <p>大学研究システムにおける流動性と制度化の研究と質的保証に関する研究では、大学・短大職員録分析、4カ国の大学機関と教員の流動性に関する調査、各種統計報告書の分析、国内外訪問調査などを行う。</p> <p>大学統合ならびに組織編成と機能に関する研究では、従来の研究を踏まえて、調査研究を実施し、主要国の大学組織の変容要因や教育研究組織の変化の国際比較分析を行い、日本の大学組織改革の方向性を解明する。</p>		
教育実施計画	<p>当センターは1986年に高等教育に関する我が国最初の大学院教育博士課程を発足させた。この拠点形成において人材養成に関して取り組むべき具体的な課題は以下の通りである。</p> <p>(1) 高等教育開発専攻の目的に対応して、研究者養成、専門家養成、大学職員養成など多様な人材開発を実施する。</p> <p>(2) 拠点形成に伴って開催される各種の国際会議やワークショップの成果を教育内容として研究者育成に反映させ、国際的な視点から質の高い教育による能力開発を実施する。</p> <p>(3) 大学職員養成のための教材を積極的に開発する。(4) 将来大学教員を目指す大学院生にはブレFD教育を実施する。</p>		

拠点形成のイメージ図

